

レジメン名

biweeklyCPT-11+CDDP

出典

EJC 51:808-816,2015

Anticancer Research 25:1257-1262,2005

実施部署区分

☒ 入院
 ☐ 外来
 ☐ 処置

対象疾患

胃癌

☒ 進行・再発

☐ 補助療法(術前・術後)

☐
☐

投与減量の基準

WBC	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
ANC	500/mm ³ 未満		
その他			

投与中止の基準

WBC	4000/mm ³ 未満	PLT	10万/mm ³ 未満
Cr	1.5mg/dL以上	AST、ALT	120IU/L以上
T-bil	1.5mg/dL以上	Hb	8.0g/dL未満
その他	CLcr: 50mL/min未満		

1コース期間

14日

総コース数

PDまで

(次のコースまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
イリノテカン	60mg/m ²	輸液250mL	90分	day1
シスプラチン	30mg/m ²	NS500mL	90分	day1

1日投与順

(経時的にプレミケーション・ポストディケーション、
溶解液まで含む)

day1

①デキサート9.9mg＋パロノセトロン0.75mgパツグ(15分)

②生食500mL(60分)

③イリノテカン60mg/m²＋輸液250mL(90分)④シスプラチン30mg/m²＋生食500mL(90分)

⑤生食50mL(フラッシュ用)

<内服>

day1から4日間

ウルソデオキシコール酸(100)3錠 分3毎食後

炭酸水素ナトリウム 1.8g 分3毎食後

(遅発性下痢の予防目的)

day1-3

アプレビタントカプセル(125-80-80)

day1は化学療法開始1時間前、day2,3は朝食後

day2-4

デカドロン8mg

day1-4

オランザピン5mg 夕食後

(糖尿病は禁忌、高齢者は2.5mgへ減量を考慮

するなど慎重に投与)